

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『命をつなぐ医療と税』

町田市立金井中学校 3学年 高岡 凜

私には、膵臓がんを患った祖母がいた。膵臓がんは、発見や治療が難しくその上祖母のがんはステージ四であった。その後、診断により抗がん剤治療を受けた。抗がん剤の副作用で髪が抜け始め、ベッドから起き上がることさえやっとになってしまった。そんな祖母を見るだけで悲しく思ったが、少しでも一緒にいられることがとてもうれしかった。

それから、一週忌が過ぎ、税の作文を書くこの機会にと母が税金によって祖母の医療費が軽減されたということを説明してくれた。

母は、

「治療費は数百万もあったんだけどね。でも、高額医療費制度で金額が大幅に減って負担が軽減されたの。それで、この制度は税金によって成り立っているんだよ。」

と話した。私は、このことを聞き税金への見方が変わった。税金は、環境整備や教育などだけではなく、人の命を助ける支えともなるということを人生で初めて知った。私が祖母と過ごせていたのは、この制度と税金があったからだった。

日本が世界一の長寿国と言われるのも、税金が源となる、高額医

療費制度や医療保険制度などがあり、多くの人々の命を救ってきたからだろう。

だが、高額医療費制度を知らない人が多くいるとされている。それは、自分自身は大病にならないと考えているからだと思う。この制度を知らず、亡くなった命もあつたのではないか。

だが、国民が健康で豊かな生活を実現する為には、このようなことがあつてはならない。

そのためにも、世の中の人々が制度への知識を持ち、税金に対して理解を深めることが重要だと思う。また、少子高齢化が進んでいる日本では、医療や福祉、介護などといった社会保障費は増え続け、納める税金が膨大になってしまう。富の再分配につながるが、労働意欲が減退する可能性がある。

現状の課題が今後の自分の人生にどのような影響がもたらされる可能性があるを意識し、税金の大切さについて学んでいきたい。

私達の生活の質を高めていく為に、税金は必要不可欠である。税のことについて一人一人が考えを深める、自分達の課題を追求していくことが生活の質を高めていく一步になると考える。大人だけではなく私達、児童、生徒らの学校教育で税について学ぶ機会を増やすことが未来の働き手にとって必要だと思う。

私も数年後には、社会人の一員となっているはずだ。その時が訪れたら、祖母と過ごせたように大切な人々を救い、支え合う大人の一人として、胸を張って納税をしようと思う。